



発行：徳島県経営戦略部秘書課 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 TEL088-621-2020 FAX088-621-2823 人口744,488人 男354,748人 女389,740人 世帯数308,217世帯 [2017年7月1日現在]

消費者庁・国民生活センターの「消費者行政新未来創造オフィス」が徳島県に開設されました。

新次元の消費者行政・消費者教育を徳島から全国へ。

全国に広がる新たな可能性を 県民の皆さんと共に見つけたい。

独立行政法人国民生活センター 松本恒雄 理事長



研修と商品テストを2本柱として実施

消費者庁とともに、国民生活センターも、徳島県庁内に「消費者行政新未来創造オフィス」を開設いたしました。同じフロアには、県による「1e1eしま消費者行政プラットフォーム」も設けられており、さまざまな

場面の交流や、より迅速な意思疎通が図れるのではないかと期待しています。国民生活センターは、国や全国の消費者生活センターなどと連携しながら、消費者問題や暮らしの問題に取り組む中核的機関です。全国の消費者生活センターを通じて年間約90万件の相談情報が集まっています。それらをあらゆる角度から分析しながら、被害の未然



今年7月に徳島市で開催されたシンポジウムの様子

徳島だからできることが、きつとあると信じています。



消費者行政の新拠点として期待
徳島県の消費者行政への熱心な取り組みもあり、今回、消費者庁として初めて地方にオフィスを構えることになりました。「消費者行政新未来創造オフィス」という名前の通り、新しい消費者行政の発展や創造の拠点となることを目指して業務を行っています。県庁舎内に設置させてい

とになりました。「消費者行政新未来創造オフィス」という名前の通り、新しい消費者行政の発展や創造の拠点となることを目指して業務を行っています。県庁舎内に設置させてい



7月24日に県庁10階で行われた開設式

いただいたオフィス体制は、国民生活センターの職員も含めて約50名です。その中には消費者行政に力を入れている全国各地の地方自治体や、県内5市町村からの職員も加わっており、ともに消費者行政の未来をつくりながら、そこで得た成果を各地に持ち帰っていただくこととなります。また、オフィスと同じフロアに、県内外の消費者や自治体、事業者、教育機関の方々が積極的に議論を交わすことができる場として「1e1eしま消費者行政プラットフォーム」を設けていたことも、先述の通り、この場をきっかけとして、県民の方にとっては、もちろん、全国の消費者にとっても良い結果をもたらせるよう一丸となって取り組んでいます。

積極的に進めたいと考えています。また、徳島は「ロードバンド環境が優れていること」もあり、テレワークや「働き方改革」のモデル部署として、東京・霞ヶ関の働き方にも良い影響を与えていければと思っています。

徳島は、消費者教育にも積極的です。たとえば、自立した消費者の育成を目的に消費者庁が作った「社会への扉」という教材を県下全域の高校1年生に配布しているなど、若い世代へへの消費者教育に力を入れている。また、地球環境や社会貢献などに配慮した「エシカル消費」への取り組みは、すでに全国をリードしています。今年2月に徳島市で行われた関連イベントに私も参加させていただきましたが、高校生の方も非常に熱心に取り組まれています。こういった徳島ならではの実績をベースに、さらには消費者行政の可能性は、さらに大きく拓けるのではないのでしょうか。地元企業の方にも、消費者にとってより良い商品づくりに挑戦していただければ嬉しいのです。

全国モデルを徳島から
消費者庁の役割を簡単に説明すると、消費者生活者の「暮らしの安全・安心を守るための役所」です。私たちは、毎日の生活の中で「何をやるか」という選択をしています。そのためには、製品の安全確保に向けての企業努力はもちろん、消費者一人ひとりが自分の責任で正しい判断ができるように成長する必要がある。そういったことを含め、消費者の安全・安心に関わる問題を幅広く所管する「消費者行政の司令塔」としての役割が求められています。

今年9月、消費者庁ができてから8年になりました。また若い役所ということもあり、これまで十分とは言えなかった「理論的・先行的な調査研究」や「全国展開を見据えたモデルプロジェクト」などを徳島で

への消費者教育に力を入れている。また、地球環境や社会貢献などに配慮した「エシカル消費」への取り組みは、すでに全国をリードしています。今年2月に徳島市で行われた関連イベントに私も参加させていただきましたが、高校生の方も非常に熱心に取り組まれています。こういった徳島ならではの実績をベースに、さらには消費者行政の可能性は、さらに大きく拓けるのではないのでしょうか。地元企業の方にも、消費者にとってより良い商品づくりに挑戦していただければ嬉しいのです。

ト」については、従来の苦情を元にしたテストとは違い、もっと未来的な思考で安全性を確保するためのテストを行えばと考えています。たとえば、去年の熊本地震の際に、屋外に設置していた給湯器などが多く壊れたという事実を受け、南海トラフ地震が想定されているエリアでもある徳島、県内の大学や研究機関、県民の方々などに協力をいただきながら、徳島をフィールドとした有意義な業務を行えばと考えています。私自身も徳島に足を運

び、四国八十八箇所霊場の一番と二番をまわるなどして、地元を暮らしを身近に感じることをできました。この場所での業務を行うことで、県民の方にとっては、もちろん、全国の消費者にとっても良い結果をもたらせるよう一丸となって取り組んでいます。

び、四国八十八箇所霊場の一番と二番をまわるなどして、地元を暮らしを身近に感じることをできました。この場所での業務を行うことで、県民の方にとっては、もちろん、全国の消費者にとっても良い結果をもたらせるよう一丸となって取り組んでいます。

び、四国八十八箇所霊場の一番と二番をまわるなどして、地元を暮らしを身近に感じることをできました。この場所での業務を行うことで、県民の方にとっては、もちろん、全国の消費者にとっても良い結果をもたらせるよう一丸となって取り組んでいます。



独自の地域資源を活かしながら新次元の消費者行政を。

消費者庁等移転推進協議会 岡田好史 会長

や、安全・安心を旨とした食品表示の取り組みなど、徳島県が全国に先駆けた取り組みを続けてきたこと、今回の成果も、今後は、国が掲げる「働き方改革」も実現できるのではないのでしょうか。

今、踏み出した新しい歴史への歩

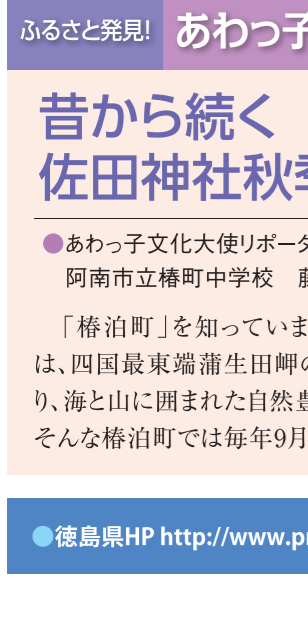
東京一極集中の是正に向けて国が募集した中央消費庁の地方移転を受け、県が消費者庁をはじめとする計6機関の移転を提案したのが約2年前のことです。そこで、地方創生の旗のもと、県内の産学官金労言が丸となって、機会があるごとに、担当大臣への政

提議や行動宣言の発表など、誘致活動を行ってきました。それが実を結び、このたび消費者庁と国民生活センターが県庁内の「消費者行政新未来創造オフィス」に新拠点を構え、業務が開始されました。ようやく、県内の一歩を踏み出せることになりました。

ここに至るには、光ファイバー環境の整備

日本は、これまで経済の先進国を目指してきましたが、他国の追い上げや少子高齢化が進む中、新しい方向性を打ち出す必要があります。たとえば、高齢化が進んでいることを前向きに捉え、豊かな高齢社会の先進国へと舵を切ることも考えられるでしょう。子どもたちが高齢者まで、消費者を守るという豊かな高齢社会につながる。そういった中で、新機軸・新次元の消費者行政が求められています。

消費者庁と国民生活センターの「消費者行政新未来創造オフィス」を支援するために、県と協議会が共同で県庁内に「1e1eしま消費者行政プラットフォーム」も新設しました。プラットフォームはまさに「対話の場。国、県、消費者による交流や議論を通じて新たな「気づき」が生まれる場所です。消費者庁・国民生活センターの皆さんに、徳島をもっと知っていただき、新たな消費者行政へとつながっていただくことが我々地元役目であり、今後も県と一致して参ります。



お問い合わせ先 新未来消費生活課 TEL088-621-2499 FAX088-621-2979

徳島は言言する VS 東京

徳島県HP <http://www.pref.tokushima.jp/> ●徳島県メールマガジンとくめる <http://our.pref.tokushima.jp/tokumeru/> ●もっど! OUR徳島+ <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2013042200169/> ●県内ケーブルテレビ局で県広報番組を放送しています。

あわっ子文化大使通信
昔から続く 佐田神社秋季例大祭
あわっ子文化大使リポーター 阿南市立椿泊中学校 藤田 優花

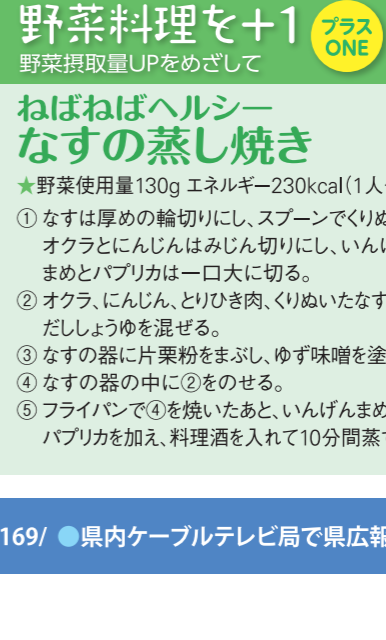
「椿泊町」を知っていますか。椿泊町は、四国最東端蒲生田岬のすぐ近くにあり、海と山に囲まれた自然豊かな町です。そんな椿泊町では毎年9月に「だらだ祭り」といわれるようになりました。この祭りの最大の魅力は、水中花火です。船の上から水中に向かって斜めに火をつけ花火を打ち込みます。船から投げ入れられた花火が、浅瀬ではほぼ半円形に開きます。毎年水中花火を見に来る観光客が訪れます。また、水中花火の他にも、山車のねり、神輿の船渡御・船団の海上パレードが行われます。



神輿の練り 神輿は海へ

私は、生まれ育ったこの町が好きです。だから、たくさんの人にこの町のよさを知ってもらいたいと思います。ぜひ一度、椿泊町の佐田神社秋季例大祭に参加してください。また、おいしい魚を食べに椿泊町へ遊びに来てください。皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。 ●教育文化課 TEL088-621-3055 FAX088-621-3056

野菜料理を+1 プラス ONE
ねばねばヘルシーなすの蒸し焼き
★野菜使用量130g エネルギー230kcal(1人分)
① なすは厚めの輪切りにし、スプーンでくりぬく。オクラとにんじんはみじん切りにし、いんげんまめとパプリカは一口大に切る。
② オクラ、にんじん、とりひき肉、くりぬいたなすに、だししょうゆを混ぜる。
③ なすの器に片栗粉をまぶし、ゆず味噌を塗る。
④ なすの器の中に②をのせる。
⑤ フライパンで④を焼いたあと、いんげんまめとパプリカを加え、料理酒を入れて10分間煮ます。



【材料(1人分)】 ●なす60g ●オクラ20g ●にんじん30g ●いんげんまめ10g ●パプリカ10g ●とりひき肉70g ●だししょうゆ適量 ●片栗粉5g ●ゆず味噌適量 ●料理酒適量
[レシピ提供]平成28年度「野菜たっぷり料理レシピコンクール」応募作品より